

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		11 07 08	中期総合計画主要施策番号		2-02,4-04,5-07		担当課	部・課	建設部 都市計画課	
事業名		都市公園事業(公共[都市計画])				内線		3355		
						E-mail		toshikei@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	公園利用者が安全で快適に利用することができるよう、また災害時に緊急避難地、防災拠点地として活用できるよう、既存公園施設の大規模な改修、改善を行う。								
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 老朽化が著しい公園施設の改修・改善が必要となっており、施設がバリアフリー化されていないことから高齢者等が利用しにくい状況となっている。また、都市内の大規模なオープンスペースとして緊急避難地、防災拠点としての機能の維持が求められている。								
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 公園利用者の安全性を最優先に、バリアフリー-新法への適合も合わせた計画的な改修・改善が必要である。また、災害時において緊急避難地や防災拠点として機能の維持を図る改修の考慮が必要である。								
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 公園利用者の安全の確保、高齢化社会において幅広い年代層の利用や住民のニーズに対応するため、また、災害時の緊急避難地や活動拠点として機能を回復させることが必要である。								
	事業内容	県都市公園の老朽化施設等の大規模な改修工事を行う。 補助率 通常 (国:1/2 県:1/2) 地域・自立活性化交付金 (国:45/100 県:55/100)								
実施期間	H20 ~ H24	根拠法令等	都市公園法第2条の3、第12条の2							
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
	既存公園施設を健全な状態に改修・改善を行うことにより、住民福祉の増進に寄与するとともに、防災機能の向上を図る。		既存公園施設の改修・改善を行い、公園施設機能の維持・向上に努める。平成20年度は、駒場公園のプール及び園路のバリアフリー化、松本平広域公園やまびこドームの屋根改修、風越公園トイレのバリアフリー化を行う。			駒場公園については、プール及び園路のバリアフリー化の工事が開始され、松本平広域公園やまびこドームの屋根改修、風越公園トイレのバリアフリー化を実施し、公園施設機能の維持・向上や公園利用者の安全性・快適性が図られた。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区分	単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要				
	最終予算額 (A)	千円		141,000	160,000	国庫・県単	公共			
	決算額 (B)	千円		109,412		実施方法	直接			
	B(H21はA)のうち一般財源	千円		46,756	53,400	歳出節別内訳等	予算現額:141,000 1箇所当平均工事期間:3.5年(H20~H24)			
	概算人件費	人		5.00	5.00	(単位:千円)				
事業実績	内容	単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績				
	事業実施箇所数	箇所		3	5					
事業の課題	区分	判定・説明								
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・当該公園は県有施設であり、公園利用者に安全で快適に利用するため、改修・改善の必要がある。 ・建設後20年以上経過した公園施設も多く、バリアフリー化等の改修・改善工事の必要性は高い。				
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり						
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり						
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり						
課題の総括	・老朽化の著しい公園施設の改修改善工事が今後の課題である。 ・遊具の安全基準の改定を踏まえ、公園施設の安全性を最優先に、バリアフリー-新法への適合も合わせた計画的なリニューアル(改修改善工事)と、引き続きコスト縮減に取り組んでいく必要がある。									